

令和元年5月における会員の財務状況等

日本商品委託者保護基金

1. 会員数の状況

会員数は26社。内訳は受託会員14社、取次会員12社となっている。

2. 委託者数等の状況

委託者数は延べ78,964口座で前月比0.2%増となり、建玉委託者数は13,356口座で前月比9.7%増となった。また、役職員数は4,061人で前月から2人増加した。

3. 委託建玉及び預り証拠金の状況

委託建玉は591,844枚で、前月末から56,901枚増加する一方、預り証拠金は1,141億84百万円となり、前月比で32億21百万円減少した。なお、委託者に占める建玉委託者は、16.9%となり、前月比1.5ポイント増加した。

4. 純資産額の状況

会員の純資産額は総額3,281億1百万円となり、前月比0.6%の減少となった。

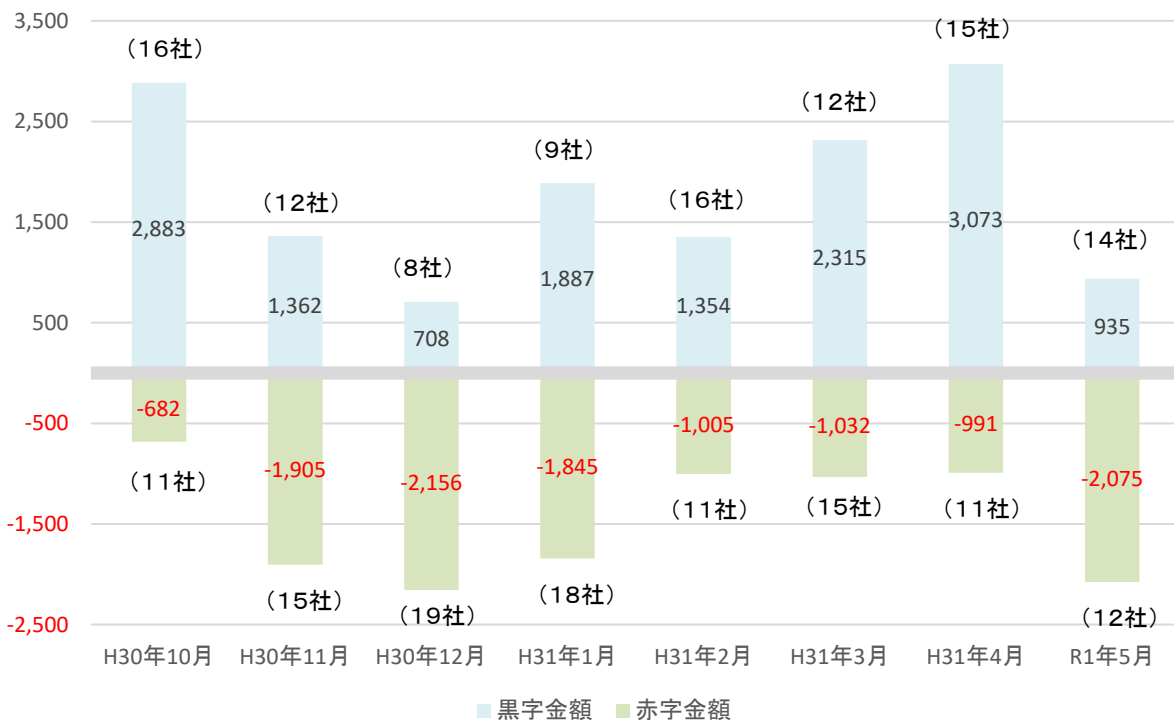
5. 損益状況

今月の当期純損益について、黒字の会社が14社、赤字の会社が12社となったが、全体では11億40百万円の赤字となった。委託取引高の減少に伴い前月に引き続き商品先物取引に係る受取委託手数料は減少し、また数社の大きな損失の発生の影響により全体では赤字になった。

6. 取引高の状況

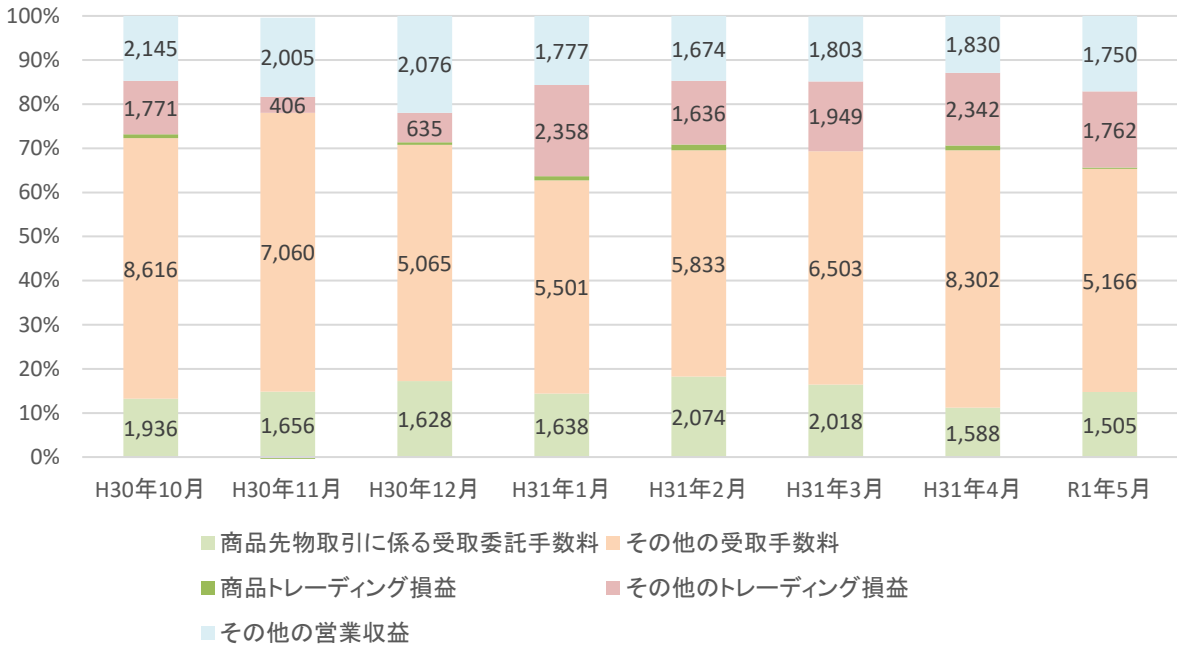
委託取引高は、前月比3.1%減(前年同月比32.7%減)の約247万枚となった。その要因は、RSS3号(前月比17.2%増の約18万枚)及び原油(前月比11.9%増の約40万枚)が増加したものの、金標準取引(前月比5.9%減の約87万枚)、東京ゴールドスポット100(前月比15.6%減の約14万枚)及び白金標準取引(前月比10.4%減の約58万枚)の減少が大きかったためである。また、比率では、TSR20が前月比69.8%大幅減の2,772枚だった。

当期純損益推移



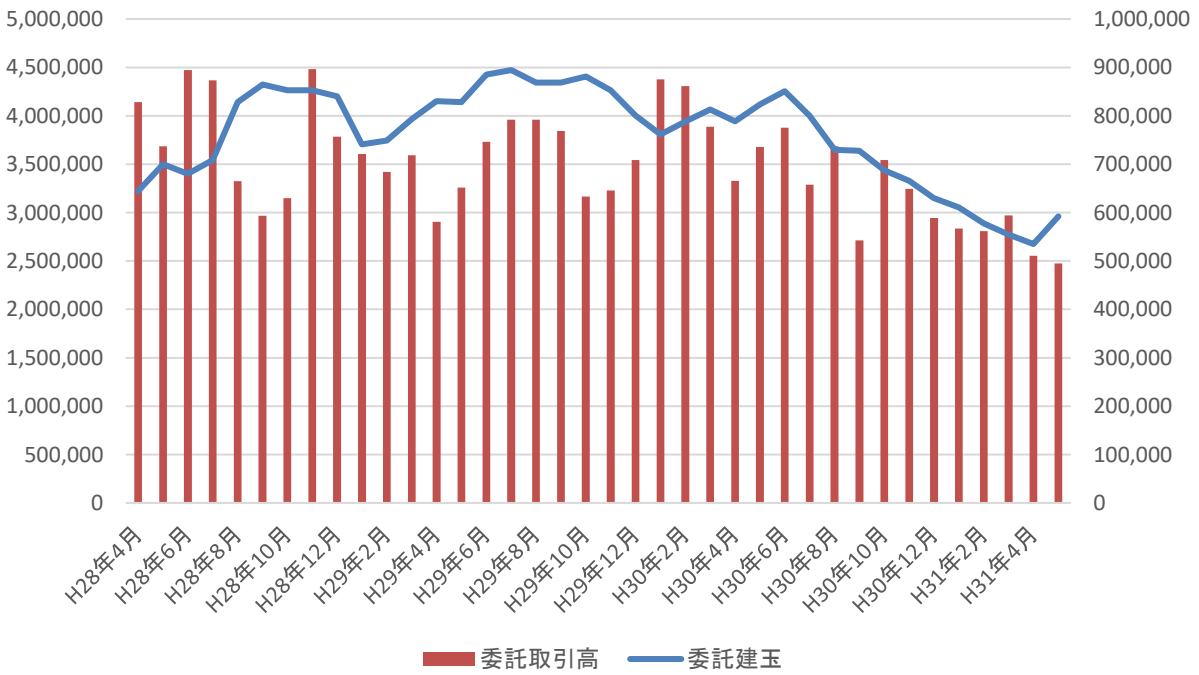
営業収益内訳割合

(単位:百万円)



委託取引高及び委託建玉推移

(単位:枚)



以上